

(様式例)

令和7年度 音楽科 授業改善推進プラン

大田区立大森東中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・歌唱や合唱において、基本的な姿勢や発声を身に付け、表現することができた。
- ・音楽の諸要素を理解し、用語や記号を活用し表現活動や鑑賞をおこなった。
- ・合唱祭に向けて意欲的に学習活動ができた。
- ・箏の学習について、基礎的奏法を理解して演奏することができた。(第2学年)
- ・
- ・

(2) 課題

- ・パートリーダーの育成とともに、より高度な歌唱指導を図る。
- ・合唱、器楽ともに楽曲への理解を深め、演奏の完成度を高める。
- ・音楽の諸要素をもとに、鑑賞した音楽を自分の言葉で批評する力をつける。
- ・ICTを効果的に活用していく。
- ・
- ・

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率(経年比較)

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第1学年			
第2学年		(第1学年時)	
第3学年		(第2学年時)	(第1学年時)

(2) 分析(観点別)

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
歌唱時の姿勢や発声についての知識を学び、歌唱技能に活かせるような学習活動を行った。 ・演奏に関する記号や用語の意味を学び、音楽の諸要素への理解を深めた。	・基本的な音楽の諸要素を理解し、それらを生かした表現を工夫できるような学習活動を行った。 ・鑑賞ではワークシートを活用し、音楽の諸要素を基に曲想を聴き取った。	・合唱や器楽におけるグループ活動では、リーダーを中心に自分たちで課題を設定しながら練習ができています。 ・授業規律(話を聞く態度、活動の切り替え等)において、意識が低い生徒への指導が必要である。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な歌唱の技能が身につけている。より深い表現ができるよう、発展的な発声方法や歌い方を身に付けていく必要がある。 ・アルトリコーダーの基本的な奏法を身につけ、楽曲の演奏ができるようになった。 ・学んできた音楽の諸要素を生かし、曲想や歌詞への理解を深めていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項を用いながら、表現を工夫している。 ・鑑賞ではワークシートを活用し、音楽の諸要素に基づいた聴き取りに加え、紹介文を書くことで楽曲への理解を深める学習を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1曲が長くなるため、演奏・鑑賞ともに集中力を高める必要がある。 ・合唱では記録シートを用いて振り返りを行い、課題意識をもって練習に取り組むことができた。 ・授業規律（話を聞く態度、活動の切り替え等）において、意識が低い生徒への指導が必要である。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な歌唱の技能が身につけており、強弱等の表現に必要な息のコントロールも十分にできる。 ・アルトリコーダーの基本的な奏法を身につけ、楽曲の演奏ができるようになった。 ・学んできた音楽の諸要素や音楽の形式、歴史や時代背景をふまえ、曲想や歌詞への理解を深めていく必要がある。 ・箏の基本的な技術が身についた。(2学年次に学習) 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項を用いて表現を工夫している。自分の想いや意図をもち、より深い表現を目指す必要がある。 ・鑑賞ではワークシートを活用し、音楽の諸要素に基づいた聴き取りに加え、批評文や紹介文を書くことで楽曲への理解を深める学習を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・合唱や器楽におけるグループ活動では、リーダーを中心に、課題意識をもって主体的にパート練習ができています。課題解決するための練習方法を、具体的に示していく必要がある。 ・気持ちを解放させ、前向きに表現させることが課題である。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・正しい発声方法や姿勢を学び、歌唱技能を伸ばす。 ・音楽の諸要素を理解し、記号・用語の意味の定着をはかる。 ・曲想や歌詞の意味を理解しながら表現できる技能を取得させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを活用し、楽曲に対する理解を深め、曲想を生かした表現を工夫できるような学習活動を設定する。 ・鑑賞したときに生まれる感情を、音楽の諸要素と関連付けて文章などで表現する機会を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業規律を徹底し、活動と活動の切り替えを素早くさせる。 ・パート練習など小グループの表現活動に主体的に取り組むよう、それぞれの役割を明確に指示する。 ・ワークシートや練習記録シートへの記入を継続して行い、具体的な視点での振り返りを目指す。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 正しい発声方法や姿勢を定着させ、歌唱技能を伸ばす。 音楽の諸要素を理解し、記号・用語や形式等音楽に関わる知識を増やす。 曲想や歌詞の意味を理解しながら表現できる技能を取得させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートを活用し、より細かな視点での楽曲分析を行い、表現を工夫できるような学習活動を設定する。 鑑賞した音楽の諸要素の働きや楽曲の音色と結び付けて、紹介文や批評文の形で自分の考えを表現できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業規律を徹底し、活動と活動の切り替えを素早くさせる。 パート練習など小グループの表現活動に主体的に取り組めるよう、リーダーの育成を行う。 ワークシートや練習記録シートへの記入を継続して行い、具体的な視点での振り返りを基に自らの課題を設定できるようにする。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 演奏する際の身体全体の使い方を意識して、より良い響きや音色を表現できる高い技能を取得できるようにする。 学習してきた用語・記号の意味や活用方法に加え、楽曲のつくられた時代背景、作曲家の人生等を学び、より深い楽曲理解を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートや楽譜を活用し、より細かな視点での楽曲分析を行い、表現を工夫できるような学習活動を設定する。 鑑賞した音楽の諸要素の働きや楽曲の音色、時代背景や作曲家の意図と結び付けて、紹介文や批評文の形で自分の考えを表現できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業規律を徹底し、活動と活動の切り替えを素早くさせる。 パート練習など小グループでの表現活動に主体的に取り組めるよう、リーダーの育成を行う。 合唱や創作等、集団でひとつのものを作り上げる活動に、主体的に取り組めるようにする。 ワークシートや練習記録シートへの記入を継続して行い、具体的な視点での振り返りを基に自分たちで課題を設定できるようにする。